

## 岩手県企業短期経済観測調査結果（2019年12月）

- 調査対象企業は、岩手県内に本社を置く資本金2千万円以上の68社
- 回答率97.1%（回答数66社、うち製造業26社、非製造業40社）
- 回答期間 11月13日～12月12日

### 1. 業況判断指数（DI）

業況判断指数（全産業）は、前回調査（9月）から僅かに「悪い」超幅を縮小した（前回▲2 → 今回▲1）。

業種別にみると、製造業は、生産用機械の一部で設備投資関連の受注増加等から判断を引き上げる先がみられたことから、「悪い」超幅が縮小した（前回▲20 → 今回▲15）。一方、非製造業は、対個人サービスの一部で復興関連工事の減少に伴う利用者の減少等から判断を引き下げる先がみられたことから、「良い」超幅が小幅縮小した（前回9 → 今回7）。

先行きについて、製造業では、海外への新たな販路拡大や新製品の投入等による増収期待から業況判断を引き上げる先がみられたことから、「悪い」超幅が縮小する見通し（今回▲15 → 先行き予測▲11）。非製造業では、先行き復興需要の減少等から、「悪い」超に転化する見通し（今回7 → 先行き予測▲5）。この結果、全産業では「悪い」超幅が拡大する見通し（今回▲1 → 先行き予測▲8）。

各種判断DI（参考1）をみると、「製商品・サービス需給判断DI」は「供給超過」超幅が拡大した。「製商品在庫判断DI」は「過大」超幅を縮小した。「仕入価格判断DI」は、「上昇」超幅を縮小した。「販売価格判断DI」は、「下落」超幅を縮小した。「生産・営業用設備判断DI」は、「不足」超に転化した。「雇用人員判断DI」については、製造業が「不足」超幅を縮小した一方、非製造業の「不足」超幅が拡大した結果、全産業では、「不足」超幅が幾分拡大した。

（「良い」－「悪い」）回答社数構成比、%ポイント、（ ）内は前回予測

	18/9月	12月	19/3月	6月	9月	12月	20/3月 (予測)
<b>製造業</b>	11	19	▲4	▲12	▲20	▲15(▲19)	▲11
素材業種	0	12	0	12	12	0(▲25)	▲13
加工業種	17	22	▲6	▲22	▲33	▲22(▲17)	▲11
<b>非製造業</b>	14	12	4	19	9	7(▲7)	▲5
建設	34	40	27	26	20	20( 7)	7
<b>全産業</b>	13	14	2	8	▲2	▲1(▲12)	▲8

## 2. 売上高・経常利益（2019年度計画）

売上高は、製造業では、海外経済の減速の影響等から下方修正する先がみられたことから、前回調査比減収幅が拡大した。非製造業は、台風19号関係工事の受注獲得等から上方修正する先がみられたことから、前回調査比減収幅が縮小したものの、消費税増税後の反動減の影響や復興関連工事の減少等から、前年比では減収となる見込み。全産業では前年比減収の計画。

経常利益は、製造業では、一部の先が下期の見込み額を大幅に上方修正したことから、前年比増益に転じる見通し。非製造業も、台風19号関係工事の受注獲得等から上方修正する先がみられたことなどから、前年比増益に転化する計画。この結果、全産業についても、前回調査比上方修正され、増益に転化する見込み。

—— 前年同期比・%、( )内は前回調査比修正率・%

	2018年度(実績)		2019年度(計画)					
	売上高	経常利益	売上高			経常利益		
			年度	上期	下期	年度	上期	下期
製造業	▲ 1.1	▲18.3	▲ 3.9 (▲ 0.8)	▲ 7.0 ( 0.1)	▲ 0.8 (▲ 1.7)	29.0 ( 2.8倍)	▲39.6 (19.6倍)	65.2 ( 2.4倍)
非製造業	2.9	3.1	▲ 5.9 ( 1.5)	▲ 4.4 ( 1.1)	▲ 7.3 ( 1.9)	3.2 ( 8.7)	▲26.2 ( 24.2)	23.0 ( 3.5)
全産業	1.2	▲ 7.2	▲ 5.1 ( 0.5)	▲ 5.5 ( 0.7)	▲ 4.7 ( 0.3)	14.1 ( 54.2)	▲31.4 ( 82.3)	41.8 ( 47.5)

## 3. 設備投資額（2019年度計画）

設備投資（土地を含み、ソフトウェア・研究開発投資を含まない）は、製造業では、電気機械で設備投資を増額する動きがみられたことから、前回調査比伸びを高める計画。非製造業も、小売や運輸・郵便の一部で設備更新投資を追加する動きがみられたことから、前回調査比上方修正され、前年並みの計画となった。この結果、全産業も、前回調査比上方修正され、前年を上回る計画となった。

—— 前年同期比・%、( )内は前回調査比修正率・%

	設備投資*		ソフトウェア・研究開発を含む 設備投資（除く土地）	
	2018年度 (実績)	2019年度 (計画)	2018年度 (実績)	2019年度 (計画)
製造業	5.9	4.9 ( 5.5)	9.9	▲ 1.9 ( 5.9)
非製造業	▲20.4	0.0 ( 0.3)	▲20.8	▲ 1.1 (▲ 3.4)
全産業	▲ 7.2	2.8 ( 3.3)	▲ 5.4	▲ 1.6 ( 1.8)

\*土地を含み、ソフトウェア投資、研究開発投資を含まない。

(参考1) 各種判断 DI の推移

—— 回答社数構成比、%ポイント、( ) 内は前回予測

(1) 需給・在庫・価格判断 DI (全産業ベース)

		18/9月	12月	19/3月	6月	9月	12月	20/3月 (予測)
製商品・ サービス需給	「需要超過」—「供給超過」	▲13	▲10	▲13	▲12	▲15	▲18(▲19)	▲18
製商品在庫	「過大」—「不足」	4	4	4	11	12	8(—)	—
仕入価格	「上昇」—「下落」	29	33	27	24	18	15(25)	29
販売価格		6	10	3	3	▲7	▲6(▲11)	▲12

(2) 生産・営業用設備判断 DI(「過剰」—「不足」)

	18/9月	12月	19/3月	6月	9月	12月	20/3月 (予測)
製 造 業	▲15	▲15	0	11	15	7(15)	11
非 製 造 業	▲8	▲5	▲2	▲3	0	▲7(0)	▲5
全 産 業	▲11	▲9	▲2	3	6	▲2(6)	1

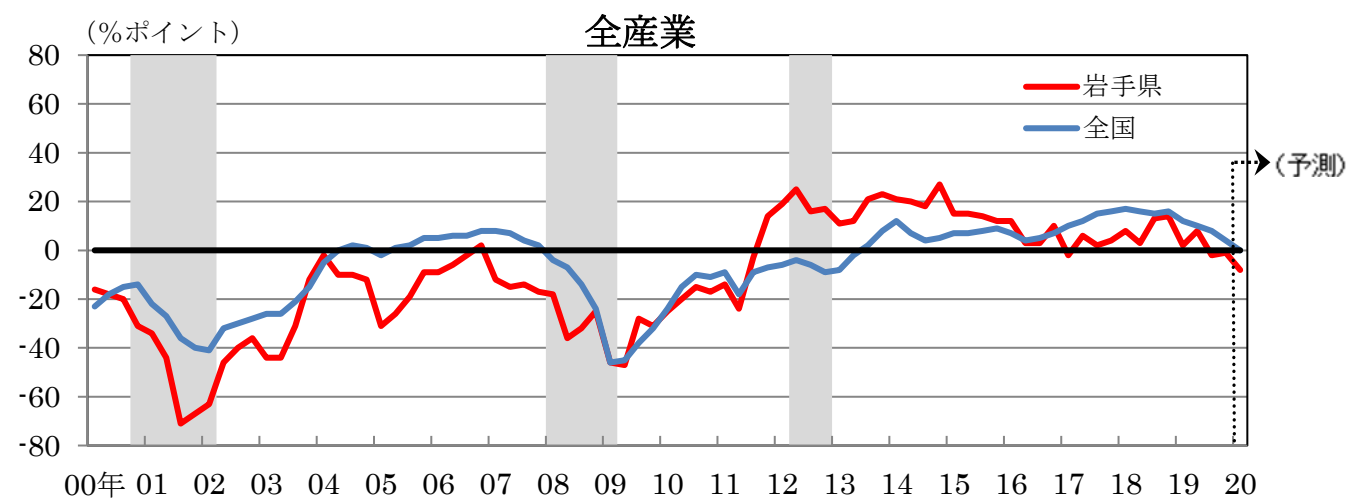
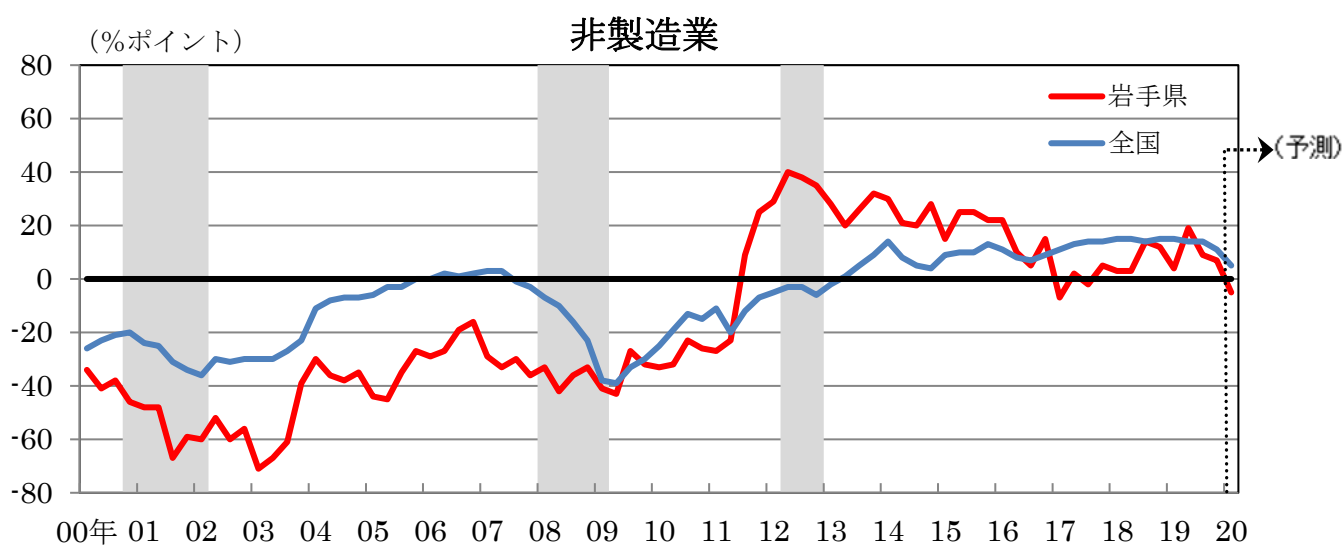
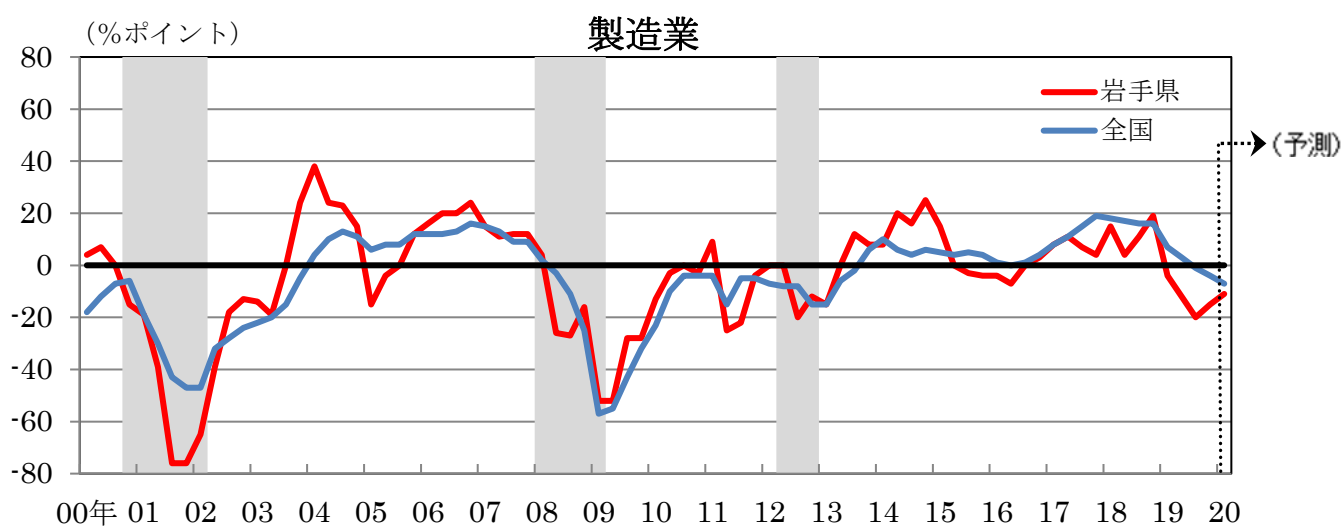
(3) 雇用人員判断 DI (「過剰」—「不足」)

	18/9月	12月	19/3月	6月	9月	12月	20/3月 (予測)
製 造 業	▲38	▲38	▲27	▲15	▲27	▲19(▲23)	▲15
非 製 造 業	▲50	▲46	▲43	▲49	▲41	▲47(▲41)	▲43
全 産 業	▲46	▲44	▲37	▲36	▲35	▲36(▲34)	▲31

(4) 企業金融関連判断 DI (全産業ベース)

		18/9月	12月	19/3月	6月	9月	12月	20/3月 (予測)
資金繰り	「楽である」—「苦しい」	3	5	1	9	7	6(—)	—
金融機関 貸出態度	「緩い」—「厳しい」	11	10	13	10	8	6(—)	—
借入金利 水準	「上昇」—「低下」	3	4	▲5	▲5	0	3(6)	6

(参考2) 岩手県の業況判断DIの推移



(参考3) 東北地区(6県)及び全国の業況判断DIの推移

( )内は前回予測

		18/9月	12月	19/3月	6月	9月	12月	20/3月 (予測)
製造業	全国	16	16	7	3	▲1	▲4(▲4)	▲7
	東北	9	9	▲3	▲6	▲5	▲9(▲11)	▲12
	岩手	11	19	▲4	▲12	▲20	▲15(▲19)	▲11
非製造業	全国	14	15	15	14	14	11(6)	5
	東北	7	6	10	8	9	5(1)	▲2
	岩手	14	12	4	19	9	7(▲7)	▲5
全産業	全国	15	16	12	10	8	4(2)	0
	東北	9	7	5	3	4	0(▲3)	▲5
	岩手	13	14	2	8	▲2	▲1(▲12)	▲8

(参考4) 東北各県の業況判断DIの推移

( )内は前回予測

		18/9月	12月	19/3月	6月	9月	12月	20/3月 (予測)
全産業	岩手	13	14	2	8	▲2	▲1(▲12)	▲8
	青森	7	3	1	5	2	1(▲4)	▲5
	宮城	4	0	6	3	2	▲4(▲1)	0
	秋田	9	6	6	5	0	▲4(▲3)	▲8
	山形	14	6	5	▲2	5	▲8(▲3)	▲7
	福島	5	10	6	1	7	3(▲2)	▲4

以上

本件に関する問い合わせ先

日本銀行盛岡事務所 TEL : 019-624-3622 (代)

<http://www3.boj.or.jp/morioka/>